

喜多方市制50周年記念  
ふるさとの心を描く

# 原田泰治の世界展

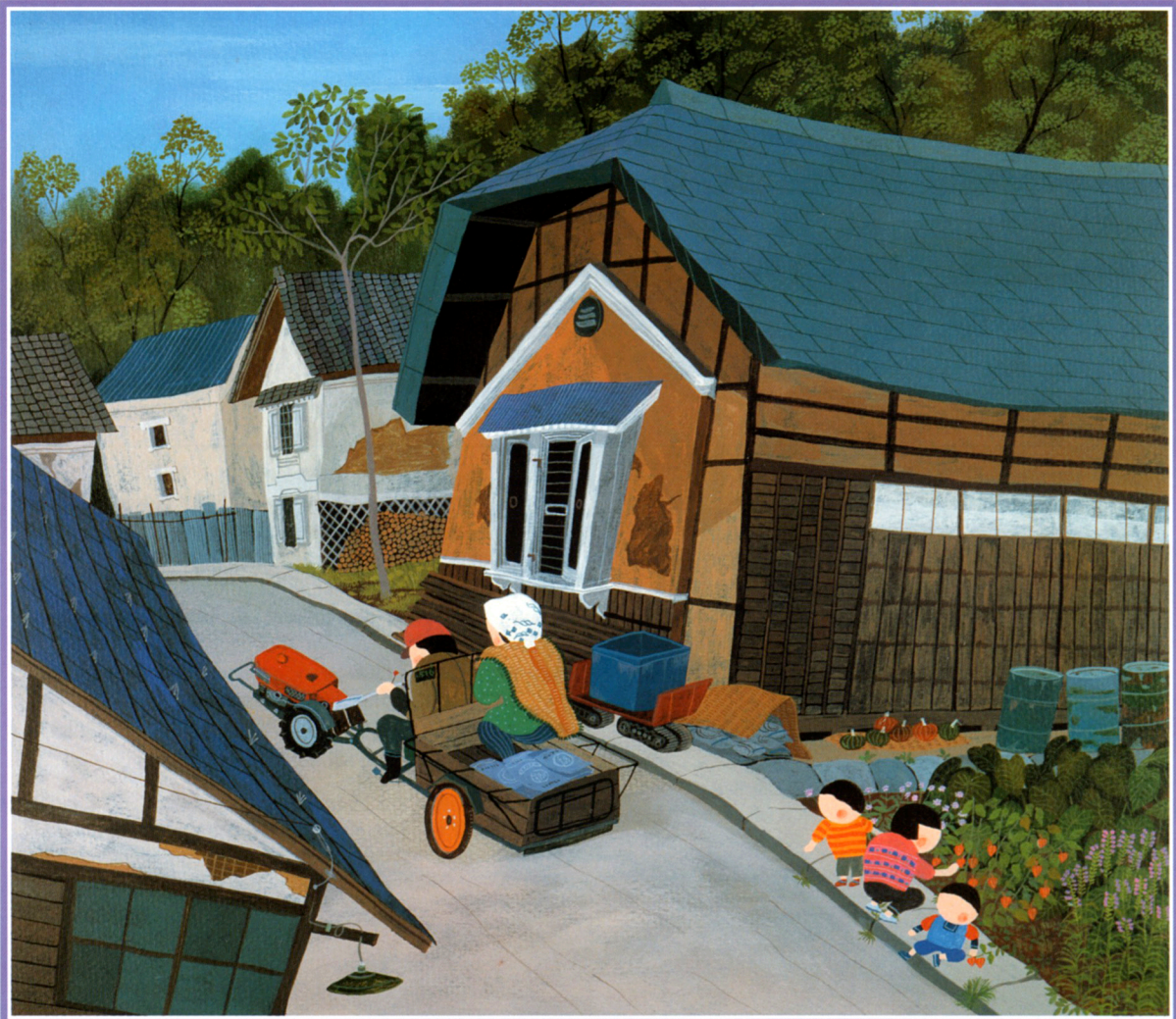
The World of Taizi Harada: Portraying the Warm Feeling of Home

2004年7月24日(土) - 8月29日(日)

開館時間 午前10時 - 午後6時 [最終入館 午後5時30分] 月曜休館

## 喜多方市美術館

お問い合わせ先 TEL.0241-23-0404



蔵の里 [福島県喜多方市杉山]

入館料 一般 500円(400円) / 大・高校生 300円(250円) / 小・中学生 200円(150円)  
( )内団体・20名様以上 / 身体障害者手帳をお持ちの方と介添えの方1名は無料

主催 喜多方市美術館

協力 原田泰治の世界展開催実行委員会・諏訪市原田泰治美術館

後援 福島県教育委員会・朝日新聞福島総局・毎日新聞福島支局・読売新聞福島支局・産経新聞福島支局・河北新報社福島総局・福島民報社・福島民友新聞社・NHK福島放送局・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM・喜多方シティエフエム

助成 財団法人 地域創造

### 【原田泰治サイン会&ギャラリートーク】

サイン会 7月24日(土)・25日(日) [午後1時〜3時 / 各回先着80名様]

●開催1時間前(正午〜2時)にショップでお買い上げのお客様、各回先着80名様に整理券をお配りします。  
●サイン会は作家の都合により変更する場合があります。

ギャラリートーク 7月25日(日) [午前11時〜11時30分 / 喜多方市美術館展示室]



宝くじは  
豊かさ築く  
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に  
役立てられています。

# ごあいさつ

芸術と文化の香り高い感動の場を提供することを目的に、喜多方市美術館が開館して、10年がたちました。そしてこの度、喜多方市制施行50周年記念事業として喜多方市美術館特別企画展「原田泰治の世界展」を開催することになり、意義ある展覧会を市制50年や美術館10年の節目に開催できることを大変うれしく思っております。

この美術館の運営の特色の一つとして、地元にくかりのある作家などを中心に企画展を開催し、作家や作品を通じて「ふるさとへの想い」を伝えて行こうというものがありますが、原田泰治の描くふるさとの風景には、日本人誰もが想う「ふるさと」の原風景があります。なつかしく、美しい自然があり、そのなかからはそこに暮らしている人の温もりも伝わってきます。そして、失われつつある自然や風物への思い、何が大切で何を失ってはならないのか、未来に残すものは何か?・・・と私たちに問いかけてきます。

今回の展示テーマは「ふるさとの心を描く」で、福島県を題材とした画を含む日本の四季の風景を紹介しますが、原田泰治が描く「ふるさとの心」と、喜多方市美術館の「ふるさとへの想い」が合致し、あらためて「ふるさと」を見つめ直し、未来を想う絶好の機会であると考えております。

原田泰治の描く、四季の風景の世界を十分に堪能されるとともに、「ふるさとの心」を感じとっていただき、ご自分の心の中、あるいはいま感じているふるさとへの思いを、未来に向かって伝え、その思いを発展させて頂くことを願ってやみません。

最後に、この展覧会の開催にご協力いただきました、関係各位に心より感謝申し上げます。

2004年 7月

喜多方市美術館

## ■原田泰治プロフィール

- |       |   |       |  |
|-------|---|-------|--|
| 1940年 | 長野県諏訪市に生まれる。  | 1994年 | 芸術文化功労で長野県知事表彰。  |
| 1963年 | 武蔵野美術短期大学商業デザイン科を卒業。  | 1997年 | 長野冬季オリンピック競技大会文化芸術祭参加「ふるさと四季の風・原田泰治の世界展」開催。  |
| 1965年 | デザインの仕事の合間に伊賀良村(現・飯田市)で過ごした少年時代をテーマに絵を描き始める。                    | 1998年 | 諏訪湖畔に「諏訪市原田泰治美術館」開館。   |
| 1973年 | 「複十字シールデザインコンクール」で特選を受ける。新聞記事でユーゴスラビアの素朴画について知り感銘を受ける。          | 1999年 | 紺綬褒章を受章。   |
| 1980年 | 第29回小学館絵画賞を受賞。  | 2000年 | 「日本の童謡・唱歌100選展」を全国20ヶ所で開催(2001年8月まで)。  |
| 1982年 | 朝日新聞日曜版フロントに4月より127週にわたり「原田泰治の世界」を連載(1982年4月～1984年9月まで)。        | 2001年 | 11月からブラジル(サンパウロ・リオデジャネイロ)2会場にて「原田泰治の世界展」を開催(2002年3月まで)。  |
| 1984年 | 「原田泰治の世界展」を全国22会場で開催、大好評を博す(～1986)。                             | 2002年 | 中米3か国(メキシコ、コスタリカ、ニカラグア)にて「日本の心」を伝える絵画展、講演会を開催。   |
| 1989年 | 12月から2年にわたりアメリカ合衆国5大都市(サンフランシスコ・シカゴ・ニューヨーク・ロサンゼルス・ホノルル)で展覧会を開催。 |       | 原田泰治自選画集・絵本「とうちゃんのとunnel」・詩画集「こすもすの詩」・画集「日本の歌百選」など著書多数。現在はグラフィックデザイナーとして、デザインの仕事を手懸ける一方画家として、国内外で精力的に創作活動を続ける。 |
| 1991年 | 同展の帰国記念展を日本各地33会場にて開催(～1993)。                                   |       |  |
| 1993年 | 7月～9月信州博覧会に「原田泰治ふれあい美術館」を出展。                                    |       |  |

- 日本グラフィックデザイナー協会[JAGDA]会員
- 中国・上海金山農民画協会会員
- 旧ユーゴスラビア・クロアチア共和国ナイブ美術協会の名誉会員

